



アイヌタイムズ



<http://www.geocities.jp/otarunay/taimuzu.html>

創刊から18年目を迎えるアイヌ語新聞（年4回発行）



アイヌタイムズ 第60号

2014年9月30日（火）アイヌ語ペンクラブ

アイヌ語ペンクラブ サハネクハ オロワ
Ainu-go-penkurabu sapanekur or wa

アイヌタイムズ第60号 チ・サンケ エアツカイ フ、シノ ビリカ ルウエ
Ainu-taimuzu-dai-60-gō ci=sanke esakay wa, sino birika ruwe
ヌ、カニ アナクネ ポロンノ ク・カンビヌイェ カ ソモ キ コロカ、チュタリ
ne. Kani anakne poronno ku=kaupinuye ka somo ki koka, cūтары
オビツタ アリキキ・アシ ワ ノノ チ・キ エアツカイ ルウエ ノ、ア、ワノ、
opitta arikiki-as wa nōno cū-ki esakay ruwe ne. Te wano,
第60号 ヘネ 第60号 ヘネ、アリキキノ ア・サンケ ロ!
dai-60gō hene dai-60gō hene, arikikino a=sanke ro!

【野本久栄】 抄録・千歳

アイヌタイムズ第60号 ケヤイコフンテツ
Ainu-taimuzu-dai-60-gō k=eyaykopuntek

タント アイヌタイムズ第60号 チ・サンケ エアツカイ フ、シノ ケヤイコ
Tanto Ainu-taimuzu-dai-60-gō ci=sanke esakay wa, sino k=eyayko-
フンテツ ルウエ ノ、アイヌ民族 ソモ ク・ネ フ、シラム ク・ネ コロカ、
puntek ruwe ne. Ainu-minzoku somo ku-ne wa, siram ku-ne koka,

アイヌタイムズは、1997年3月に創刊された日本で唯一のアイヌ語新聞です。

各号12ページ、身の回りから話からニュース解説などかなり雑多な内容ですが、現在の話題で、アイヌ語に親しめるのは大きな魅力です。

アイヌ語表記には、カナとローマ字を併用しています。本誌の日本語訳を収めた「日本語版」も3ヶ月遅れで別に発行しています。

アイヌ語を使って自分の思いを発信することをお望みの方はいらっしゃいませんか？我々は、読者の皆さんからのアイヌ語の投稿も募集しています。積極的にご参加いただいて、さらに多くの方々のお力をお借りしながら、誰からも愛されるよりよい新聞を目指しております。みなさんの応援をよろしくお願いします。

【アイヌ語ペンクラブ】

1996年秋に結成、アイヌタイムズの発行を継続中。

初代会長は萱野志朗、その後1998年春に、

野本久栄が会長になり、現在に至ります。

会費と購読料収入だけで運営されている、

非営利目的の団体です。

3ヶ月に1度、主に千歳でアイヌタイムズの

編集会議が行われています。



アイヌタイムズでは、記事の読者投稿も積極的に受け付けております。

我と思わん方は、どうぞお気軽にお問い合わせください。作文にご協力する場合もございます。

○サンプルが以下のところにあります。
アイヌタイムズの紹介（横山投稿分）
<http://www.geocities.jp/aynuitak/>

購読、その他の一般事項の問い合わせ先：

〒055-0101 北海道平取町二風谷 80-25 萱野志朗宛

○加入者 アイヌ語ペンクラブ

○郵便振替口座番号 02710-2-13314

○購読料 本紙のみ：4号分 1500円 / +日本語版：4号分 2300円

紙面、読者投稿に関する問合せ先：

〒047-0033 北海道小樽市富岡 1-32-136 浜田隆史宛

e-mail: otarunay@yahoo.co.jp

○記事の全タイトルにつきましては、<http://www.geocities.jp/otarunay/taimuzu-all.html> に掲載しています。

協力：北海道エスプラント連盟（HEL） hokkaido_esp_ligo@yahoo.co.jp

アイヌタイムズをご存じですか？

アイヌ民族の萱野志朗氏たちが創刊した世界で唯一の「アイヌタイムズ」というアイヌ語だけの新聞があります。これは、アイヌ語復権のためにアイヌ語を生きた言葉として力を取り戻すための事業です。国などからの補助金なしで読者の購読料で成立している事業のため、アイヌ語の新聞発行を続ける為には皆様方のご理解・ご協力が非常に重要なものとなっています。ご興味のある方は、是非ご購入をご検討ください。また、読者からの投稿も募集しています。

なお、**新聞の内容は自由**となっており、福島第一原発事故などの最近の事件をアイヌ語で紹介したり、アイヌと関係の深い人物や植物の紹介、四季折々の話、インターネットの話題など、バラエティーに富んだ内容となっています。アイヌタイムズで、現代に生きるアイヌ語を読み解いてください。

<http://www.geocities.jp/otarunay/taimuzu.html#all> (記事の見出し)

「アイヌタイムズ創刊号」の冒頭にある萱野志朗氏のことばをご紹介します。
『 タント アイヌタイムズ アカラ ワ、 エアラキンネ アエヤイコブンテク。
タン 新聞 ヌカラ ワ ウエピリカレ ヤン。 アウタリ オピッタ ウトゥラ
アン ワ アリキキアン ロ! 』

(「アイヌタイムズ創刊号」1997年3月20日、発行：アイヌ語ペンクラブより)
『今日、アイヌタイムズを作って、とてもうれしい。この新聞を見て、お互いに豊かになりましょう。仲間達みんなと一緒に精を出しましょう!』

(日本語訳：アイヌ語ペンクラブ会員 横山裕之)

「アイヌタイムズ」の母体団体である「アイヌ語ペンクラブ」が、1996年9月21日に設立されました。(現会長：野本久栄) 規約によれば、アイヌ語ペンクラブの目的は、「言論、表現出版の自由を擁護し、アイヌ語による表現、出版を日本および全世界へ普及させること」となっています。1997年3月20日に、アイヌ語ペンクラブから、「アイヌタイムズ」が創刊されました。

なお、アイヌ語ペンクラブでは、読者のみなさんからのアイヌ語による投稿も募集しています。題材、形式、ページ数などは自由で、作文の協力もしています。

(連絡先)

〒047-0021 北海道小樽市入船2-12-5 浜田 隆史 宛 TEL&FAX: 0134-24-9620

e-mail: otarunay@yahoo.co.jp

WWW: <http://www.geocities.jp/otarunay/taimuzu.html>

参考として、次のウェブページもご覧ください。

<http://www.geocities.jp/fmpipausi/menu.html>

<http://www.geocities.jp/otarunay/taimuzu.html> 協力：北海道エスペラント連盟 (HEL)

<http://www.geocities.jp/aynuitak/>

hokkaido_esp_ligo@yahoo.co.jp